
EDINETにおけるXBRLの現状と今後の方向

2009年3月

金融庁総務企画局
開示業務参事官 土本一郎

1. EDINETにおけるXBRL導入の概要

2. EDINETのXBRL化のインパクトとその他の導入例

3. 諸外国における動向

4. 今後の課題

1. EDINETにおけるXBRL導入の概要

1－1. EDINETの概要

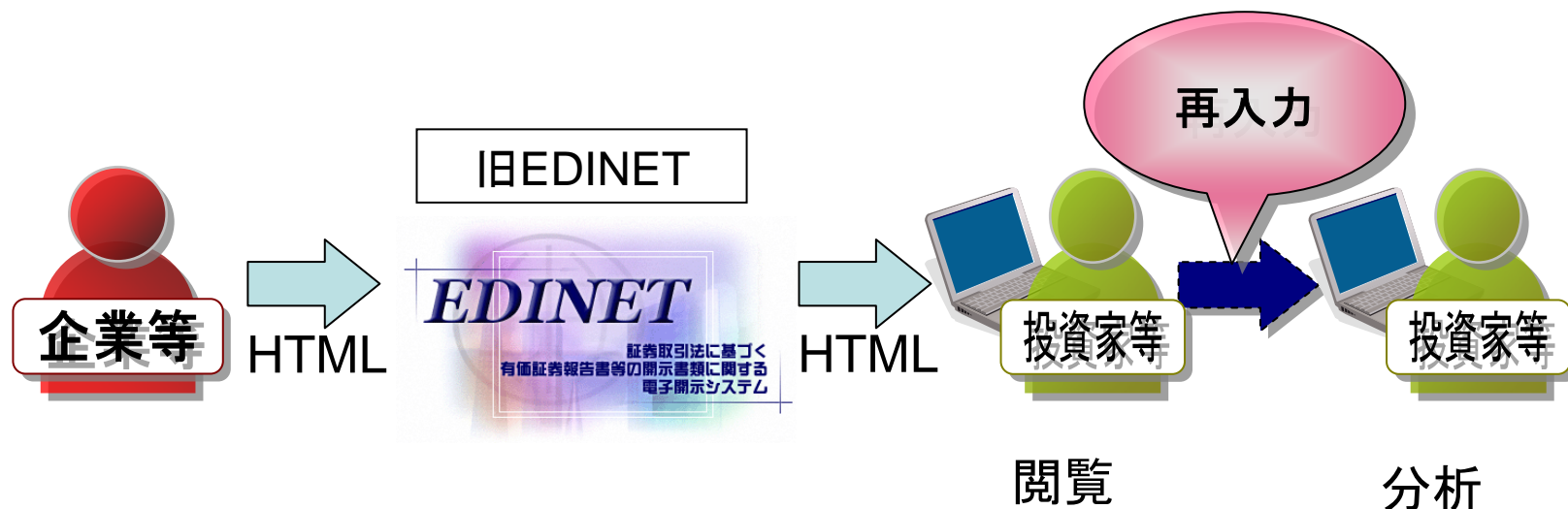
Electronic Disclosure for Investors' NETwork

- 金融商品取引法に基づくディスクロージャーを行う電子開示システム
 - －有価証券報告書、有価証券届出書、大量保有報告書等の開示に使用される。
- 2001年6月より稼動開始
- 有価証券報告書等の提出者数：
 - －上場会社等 約 5,000社
 - －ファンド等 約 3,000本

1-2. 新EDINETプロジェクト - 旧EDINETの課題

データ形式はHTML

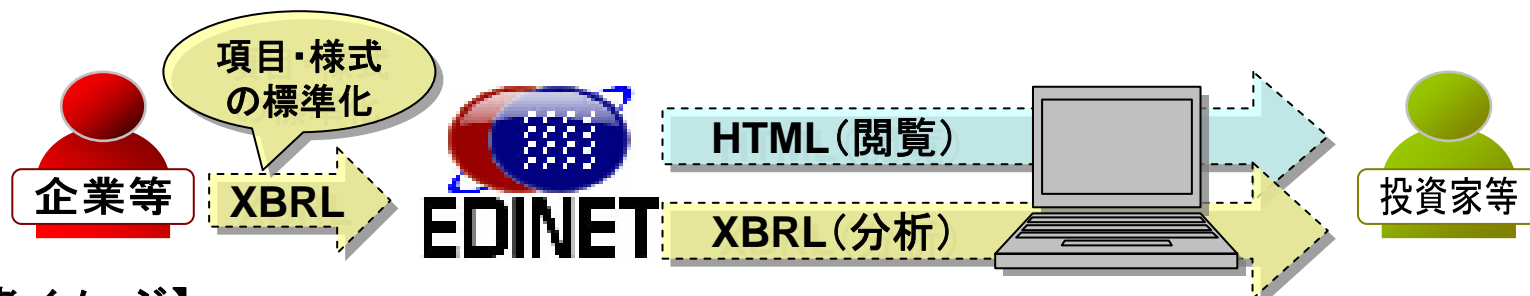
- 情報を再利用が可能な形式で提供する機能はなく、投資家、アナリスト等は情報を分析等を使用するためには転記・再入力が必要



1-2. 新EDINETプロジェクト

XBRLの採用

- 投資家、アナリスト等が、インターネット経由で財務諸表の数値を入手し（ダウンロード）、任意の形式に加工し、分析できるデータ様式を導入



【参考イメージ】

B 社		【損益計算書】			
		前事業年度	当事業年度		
区分		金額(百万円)		金額(百万円)	
				28,899	
A 社		【損益計算書】			
		前事業年度	当事業年度	1,199	
区分		金額(百万円)		17,711	
				18,911	
I 売上高		38,424	40,263	1,088	
II 売上原価				324	7,833
1. 期首製品棚卸高		1,088	1,169		21,401
2. 当期製品製造原価		17,953	19,332		20,094
計		19,041	20,502		346
3. 期末製品棚卸高		1,169	1,360		81
4. 他勘定振替高		210	225	18,915	21
売上総利益		20,763	21,347		97
III 販売費及び一般管理費		19,752	20,094		
営業利益		1,011	1,253		
IV 営業外収益		66	162		
V 営業外費用		7	15		
当期純利益		567	732		
				28,899	
				1,199	
				17,711	
				18,911	
				1,088	
				324	
				7,833	
				21,401	
				20,094	
				346	
				81	
				21	
				97	
				20,094	
				1,011	
				1,253	
				66	
				162	
				7	
				15	
				567	
				732	

1-2. 新EDINETプロジェクト - スケジュール

2006年8月 新システム・EDINETタクソノミの開発開始

2007年1月-2月 第1次パイロット・プログラム

タクソノミのテスト（オフライン）
約50社の参加

2007年7月-8月 第2次パイロット・プログラム

新システム・タクソノミのテスト（オンライン）
約1,200社の参加

2008年2月 EDINETタクソノミ（最終版）の公開

<http://www.fsa.go.jp/singi/edinet/20080208.html>

2008年3月17日 **新システム稼動・関連内閣府令等改正**

- 2008年度第1四半期報告書より財務諸表の
XBRL形式による提出開始

1-3. XBRL導入の概要

- XBRLの対象範囲

- 有価証券報告書

- 四半期報告書

- 半期報告書

- 有価証券届出書

の

財務諸表本体

- B/S、P/L、S/S、C/F

- 連結及び個別

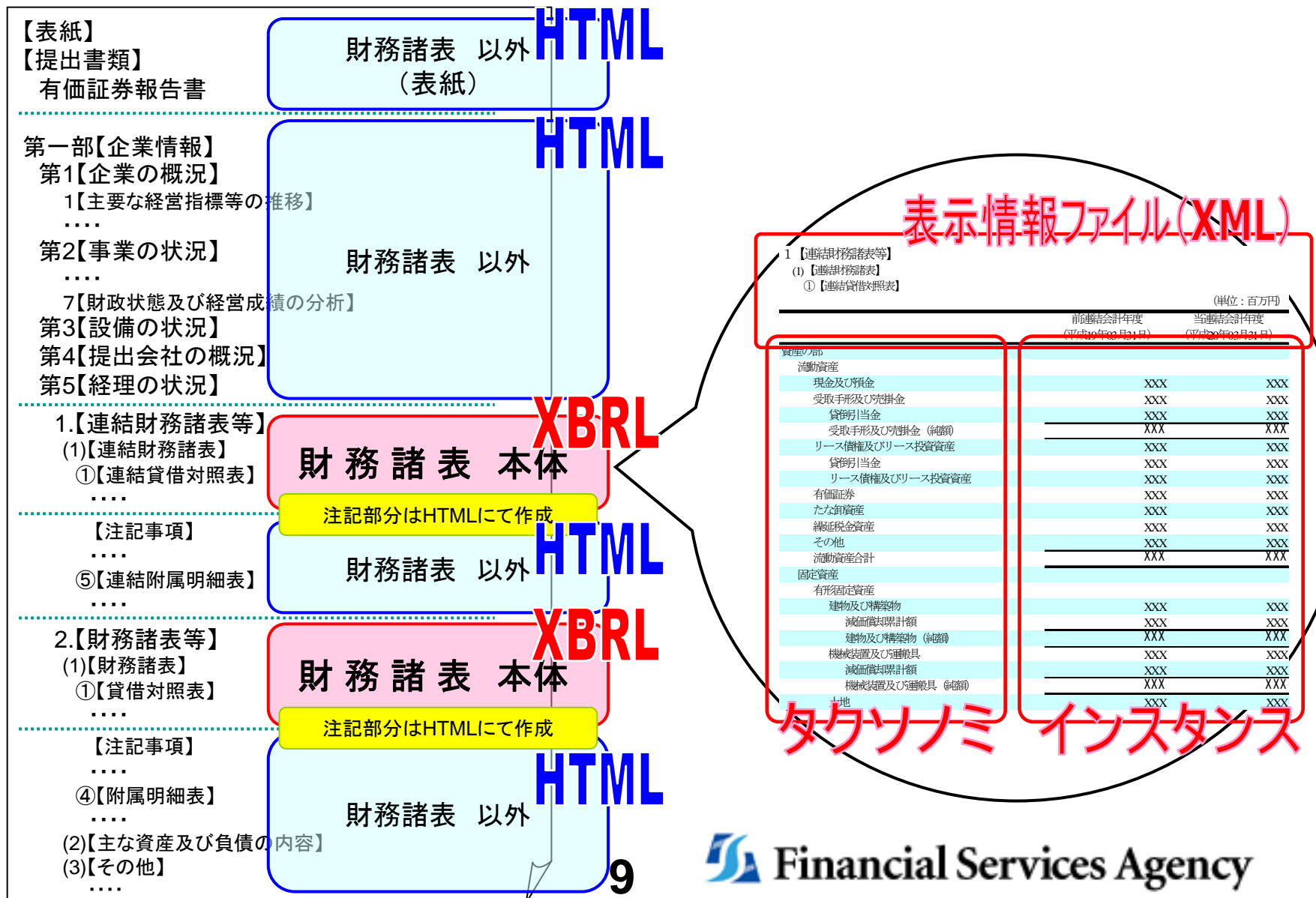
- 注記は除く

- XBRLの対象者

- 原則として、全ての提出者に義務付け

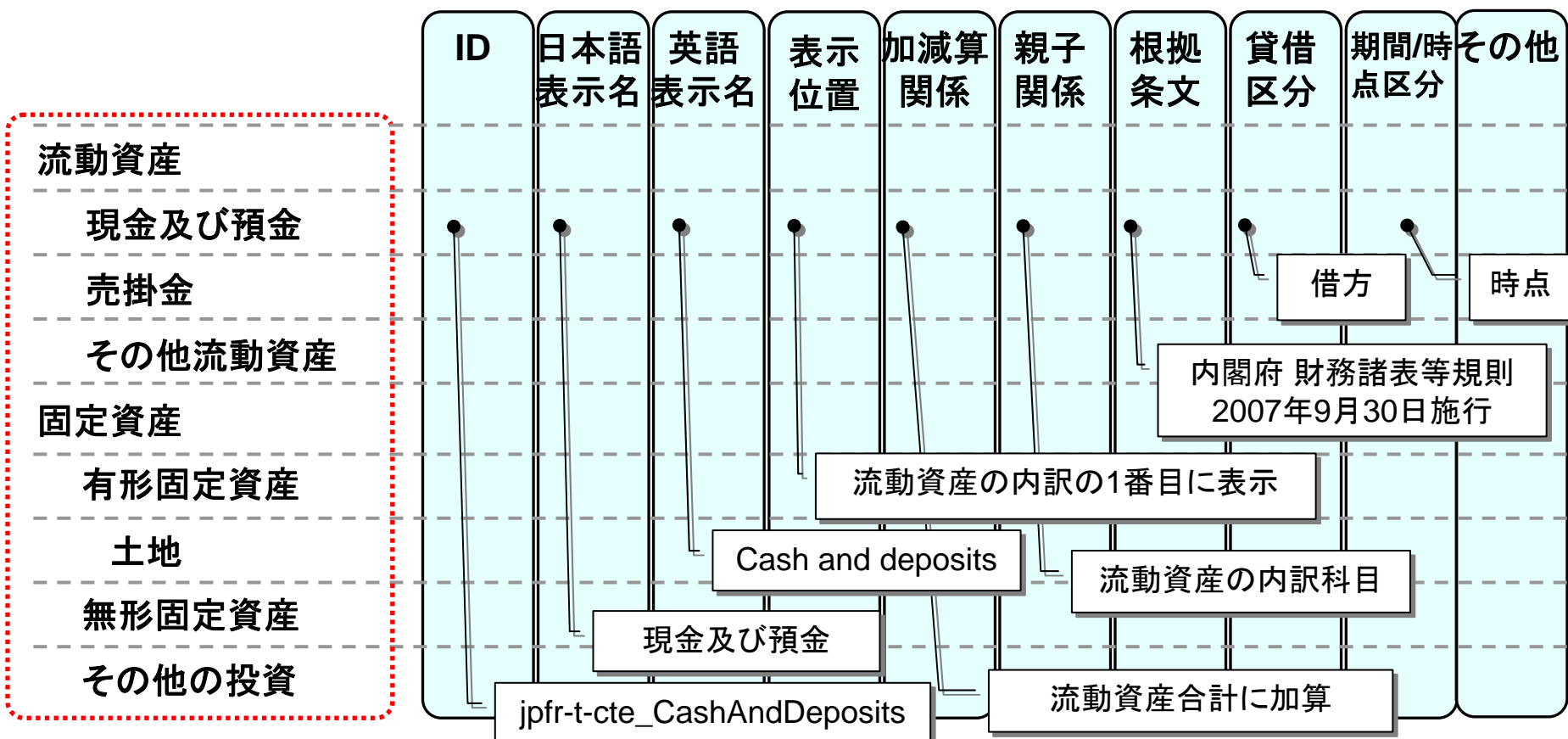
- 外国会計基準に従って作成された財務諸表を除く

1-4. 開示書類とデータ形式の全体像



1-5. タクソノミの概要

- タクソノミとは、XBRL形式で作成する財務諸表の電子的フォーマット
- 報告項目が設定されており、また各項目に意味づけするための多種の情報が定義されている。



1-6. XBRL導入後のフロー

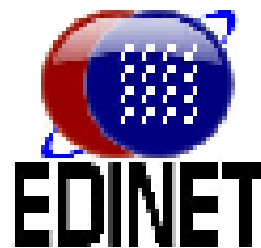
有価証券報告書等全体

①EDINETタクソミ
入手

EDINET
タクソミ

企業等

会計データ



EDINET

④画面による閲覧

HTML

投資家等



②有価証券報告書等の作成

- ・財務諸表・・・XBRL形式
- ・財務諸表以外・・・HTML形式

XBRL **HTML**

XBRL

財務諸表
以外

財務諸表

財務諸表以外

③書類提出

XBRL

XBRL

財務諸表

④XBRLデータ・
ダウンロード

1-7. XBRLの提出・利用状況

- XBRLデータの提出数(2009年1月末現在)
 - 約3,500社の6,000書類が提出済み
(主として3月決算会社の四半期報告書(第1四半期・第2四半期)及び半期報告書)
- EDINETの利用数(2009年1月末現在)

	2008年10月	11月	12月	2009年1月
閲覧 (HTML/PDF)	2,621 千アクセス/ 月	2,378 千アクセス/ 月	2,632 千アクセス/ 月	3,867 千アクセス/ 月
ダウンロード (XBRL)				
書類別ダウンロード (書類検索結果より書類単位でXBRLをダウンロード)	149 千回/ 月	72 千回/ 月	29 千回/ 月	58 千回/ 月
一括ダウンロード (提出日別のXBRLを一括ダウンロード(最近提出書類のみ可能))	42 千回/ 月	54 千回/ 月	67 千回/ 月	155 千回/ 月

※平日0:00-18:00の利用数を集計。2009年1月中旬からは土日祝日を含む24時間の利用数を集計。

※10月の書類別ダウンロードのうち120千回については、1日で特定ツールによりダウンロードされたもの

1-8. 情報利用者における活用例①

〇見えるXBRL

EDINETやTDnetに提出されたXBRLデータを活用して企業業績を見える化して企業価値を効率的に評価するための情報を提供。

見えるXBRL

EDINET、TDnetで開示されたXBRLデータを活用した企業業績分析サイト

[見えるXBRL](#)

Ads by Google

[電機決算](#)

[中間決算短信](#)

[限界利益](#)

[粗利益率](#)

[経常利益比率](#)

[トップページ](#)

目次

[直近15件](#) | [四半期 進捗率](#) | [来期予想 増減率](#) | [業績予想 増減率](#)

業種(セクター)毎の動向を調べる

業種(セクター)別に決算短信・業績予想修正データを確認できます。

ALL	水産・農林業	鉱業	建設業	食料品
繊維製品	パルプ・紙	化学	医薬品	石油・石炭製品
ゴム製品	ガラス・土石製品	鉄鋼	非鉄金属	金属製品
機械	電気機器	輸送用機器	精密機器	その他製品
電気・ガス業	陸運業	海運業	空運業	倉庫・運輸関連業
情報・通信業	卸売業	小売業	銀行業	証券・商品先物取引業
保険業	その他金融業	不動産業	サービス業	その他

直近の決算短信・予想修正 30件

XBRLを用いて開示された決算短信・業績予想修正の直近30件です。

日時	コード	会社名	タイトル
12/16 16:00	4666	パーク24	平成20年10月期決算短信
12/16 15:30	7965	象印マホービン	投資有価証券評価損の発生及び業績予想の修正
12/16 15:05	7921	宝印刷	投資有価証券評価損の計上ならびに平成21年5月期(通)
12/16 15:00	2284	伊藤ハム	業績予想の修正
12/16 15:00	4989	イハラケミカル	平成20年10月期 決算短信
12/16 15:00	8236	丸善	平成21年1月期 通期業績予想の修正
12/16 14:10	9409	テレビ朝日	業績予想の修正
12/16 14:00	3318	メガネスーパー	(数値データ追加) 平成21年4月期第2四半期累計期(通)
12/16 13:25	7983	ミロク	平成20年10月期 決算短信
12/16 13:00	5486	日立金	業績予想の修正

スポンサードリンク

Allora: XBRLをサポート

XMLデータとRDB間の双方向変換 リアルタイム
Javaツール
www.climb.co.jp/

グリー投資戦略

IPO銘柄の無料情報満載サイト 初値予想から投資戦略まで全て網羅
d.hatena.ne.jp/riging/

AV

Ads by Google

お知らせ

EDINETやTDnetで提供が開始されたXBRLデータを活用して、企業業績を見える化して企業価値を効率的に評価することを追求するサイトです。

現時点でサイトの機能は、決算発表・業績予想修正のみの抽出ですが、詳細財務諸表への対応や、蓄積データの連携、見せ方の改善を順次行ってまいります。ご意見・ご要望は、[gotospace](mailto:gotospace@disc.g2s.biz), 『見えるXBRL』より引用
<http://disc.g2s.biz/>

お気づきの点やご要望がございましたら
[こちら](#)までご連絡下さい。

経常利益 進捗率 上位ランキングトップ10

経常利益 通期予想を当分割したものからの超過割合順。各項目などの詳細は備考欄の「詳細」をクリックして下さい。

コード	会社名	発表日	四半期	超過率	備考
6721	ウインテスト	12/11	Q1	+525.0%	詳細
8761	あいおい損害保険	11/19	Q2	+205.0%	詳細
6634	ネットインデックス	11/27	Q2	+146.0%	詳細
6726	オー・エイチ・ディー	12/12	Q2	+114.7%	詳細
8754	日本興亜損害保険	11/19	Q2	+95.3%	詳細
8759	ニッセイ同和損害保険	11/19	Q2	+86.4%	詳細
6790	野田スクリーン	12/01	Q2	+76.6%	詳細
6778	アルチザネットワークス	12/04	Q1	+73.9%	詳細
6358	酒井重工業	11/20	Q2	+49.7%	詳細
6494	NFKホールディングス	11/19	Q2	+44.7%	詳細

経常利益 進捗率 下位ランキングトップ10

経常利益 通期予想を当分割したものからの超過割合順。各項目などの詳細は備考欄の「詳細」をクリックして下さい。

コード	会社名
1844	大盛工業
2906	ホック
6738	東研
7850	総合商研
7623	サンオータス
2929	ファーマフーズ
2405	フジコー
8725	三井住友海上グループホールディングス
8057	内田洋行
4824	メディアシーク

見えるXBRL

EDINET、TDnetで開示されたXBRL

Ads by Google

四半期決算

中間決算短信

連結決算

電機決算

[トップページ](#) > 6721 ウインテスト 平成21年7月期 第1四半期決算短信(非連結)

6721 ウインテスト 平成21年7月期 第1四半期決算短信(非連結)

発表日:08/12/11

会社概要

代表者	代表取締役社長	奈良 彰治
問合せ先責任者	常務取締役 開発・営業担当	樋口 真康
TEL	045-317-7888	
URL	http://www.wintest.co.jp/	
業種	電気機器	

非連結経営成績

項目	単位	前期 第1四半期	平成21年7月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	百万円	59	384	+325	+551%
営業利益	百万円	-90	65	+155	黒字転換
経常利益	百万円	-81	66	+147	黒字転換
四半期純利益	百万円	-81	66	+147	黒字転換
株価収益率(PER)	倍		15.30		
自己資本利益率(ROE)	%	-5.28	4.25	+9.53	黒字転換
総資産利益率(ROA)	%	-4.40	3.50	+7.90	黒字転換

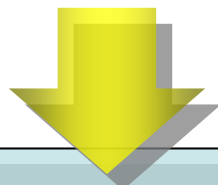
gotospace,『見えるXBRL』より引用
<http://disc.g2s.biz/>

2. EDINETのXBRL化のインパクト とその他の導入例

2-1. XBRLのインパクト ①

「見る情報」から「使う情報」へ

- － 開示情報の高度な利用
 - 分析等の利用が飛躍的に拡大
- － 開示情報の標準化
 - 比較可能性の重要性が増大
- － 開示情報の流通の効率化
 - 情報利用者の拡大



- 1,500兆円の個人資産の最適な運用の実現
- 我が国の金融・資本市場の国際競争力の強化

2-1. XBRLのインパクト ①

企業:

- 企業価値の市場へのダイナミックな反映、経営戦略の革新
- 財務管理、在庫管理、資産管理など社内マネジメントの効率化、適正化
- 内部統制管理の効率化
- ITを活用した企業経営の抜本的改革の牽引に

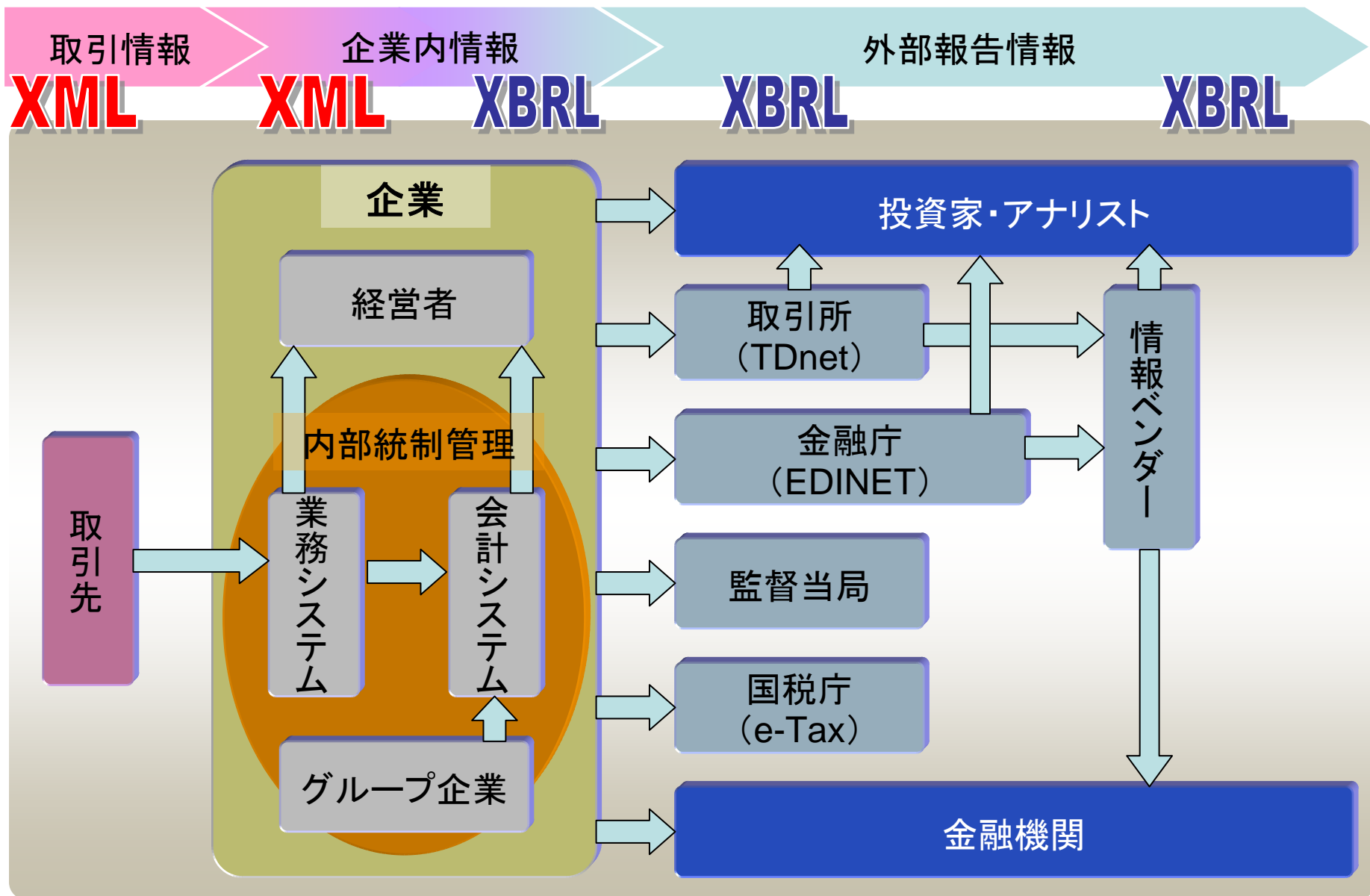
投資家:

- 分析作業等を効率化、有効化

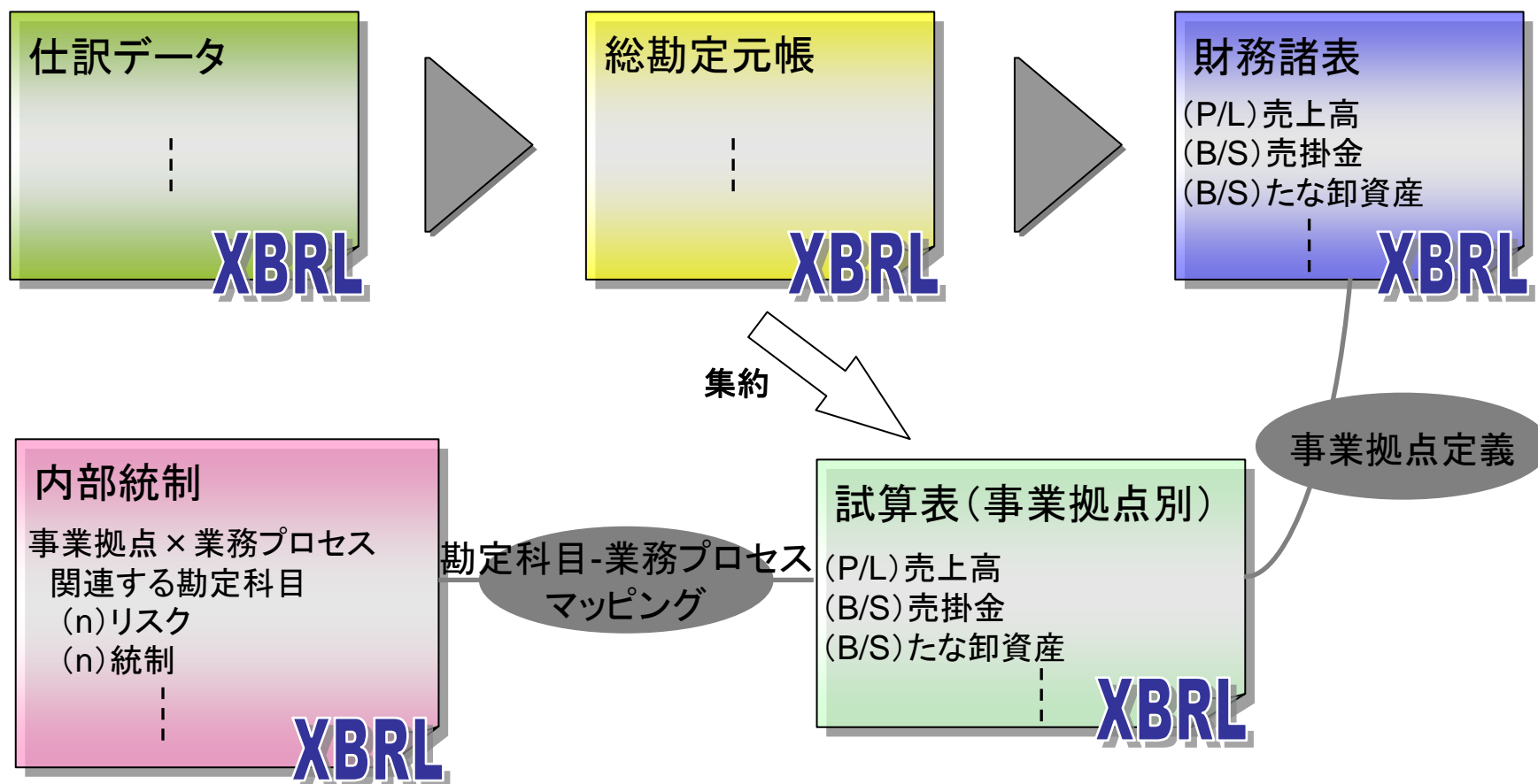
規制当局:

- 監督機能の強化、効率化

2-2. XBRLの活用



2-3. 企業における活用例



2-3. 企業における活用例

- ▶ Consistent and effective risk management for Financial Reporting by balancing financial risk significance and control importance.

Financial Statement		2000
Statement of Financial Position		
Assets		
Assets - Current		
Cash, Cash Equivalents and Short-Term Investments		
Cash and Cash Equivalents		
Cash and Cash Equivalents		525,400
Short-Term Investments		0
Receivables, Net		
Accounts and Notes Receivable, Net		
Accounts Receivable Trade, Net		229,500
Other Assets - Current		271,000
Assets - Current		805,900
Assets - Noncurrent		
Property, Plant and Equipment, Net		
Property, Plant and Equipment, Net		128,000
Intangible Assets		
Goodwill		332,500
Intangible Assets (Excluding Goodwill)		
Intangible Assets (Excluding Goodwill)		900,000
Other Assets - Noncurrent		123,200
Assets		1,929,600
Liabilities and Stockholders' Equity		
Liabilities		
Current Liabilities		
Accounts Payable and Accrued Expenses		
Accounts Payable		
Accounts Payable		139,200
Accrued Expenses		
Accrued Expenses - Other		129,000
Deferred (Unearned) Revenue - Current		345,000
Liabilities - Current		613,200
Stockholders' Equity		
Common Stock Value (Excluding Additional Paid in Capital) - All Classes		
Common Stock - Value (Excluding Additional Paid in Capital)		205,000
Preferred Stock Value (Excluding Additional Paid in Capital) - All Types and Classes		
Preferred Stock - Value (Excluding Additional Paid in Capital)		0
Additional Paid in Capital		990,200
Retained Earnings		
Retained Earnings		211,000
Treasury Stock Value - All Types and Classes		
Treasury Stock - Value		180,200
Stockholders' Equity		1,095,000
Liabilities and Stockholders' Equity		1,929,600

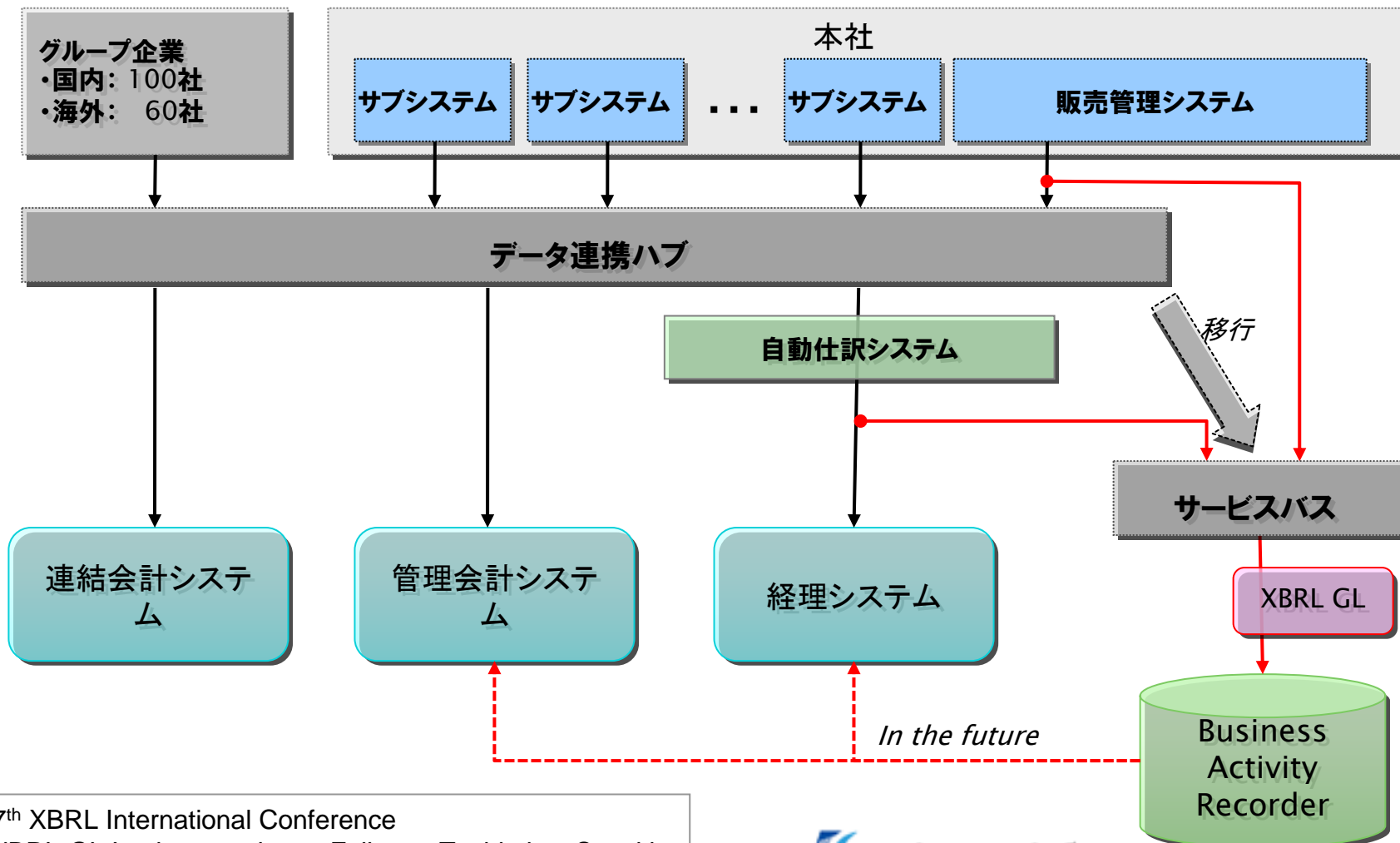
FR to GL

[illegible]

GL to IC

Process	Related processes	AS/RS	Sub-activity	Control Objective	Control Objective Evidence	Risk	Control	Key Controls	Assessments	Test Results	Score	Test Results - Narrative	Recommendations/Plan
				Operational Financial Reporting Group/Process					2018 2019 2020				
Sample Process	Related processes	SABC100	Manage subject	Ensure that materials received and issued information are processed and promptly made available to production, finance or other departments		Price not available on not retransmitted to internal activities, so do not clearly identify when or where materials are needed	7.3.1.1	yes		13,140	10.1	202	
				Information on business received is not entered into the accounting system accurately or in a timely basis			7.3.1.5	Auto		13,120	8.8.8.8	20.0.0	20.0.0
				Ensure purchase orders not filed on timely basis are investigated			7.3.1.6	Auto		202	4	5	
			Review	(except only those that were properly issued)		Previous sales information is not made available to internal activities	7.3.1.7	yes		11,110	8.8.8.8	8.8.8.8	

2-3. 企業における活用例



2-4. 企業価値の適正な形成と評価に向けての非財務情報の活用

- 非財務情報に関する国際的動向
 - WICI (World Intellectual Capital/Assets Initiative Network)
 - EBRC (Enhanced Business Reporting Consortium)
 - SEC等
- 業種ごとに標準化されたKPI (Key Performance Indicator) をXBRLで開示することの検討
 - ⇒ 企業経営の合理化・効率化へ
 - ⇒ 投資家に有用な情報の提供

The SEC should encourage private sector initiatives targeted at best practice development of company use of key performance indicators (KPIs) in their business reports.

＜SEC 財務報告改善諮問委員会 最終報告(2008年8月1日)からの抜粋＞

2-5. 日本におけるXBRLの導入状況

◆東京証券取引所

- 2003年より決算短信に試験的にXBRLを導入
- 2008年7月より適時開示制度における決算情報(決算短信等)にXBRLを導入
- 2009年1月より財務諸表本体にXBRLを導入

◆国税庁

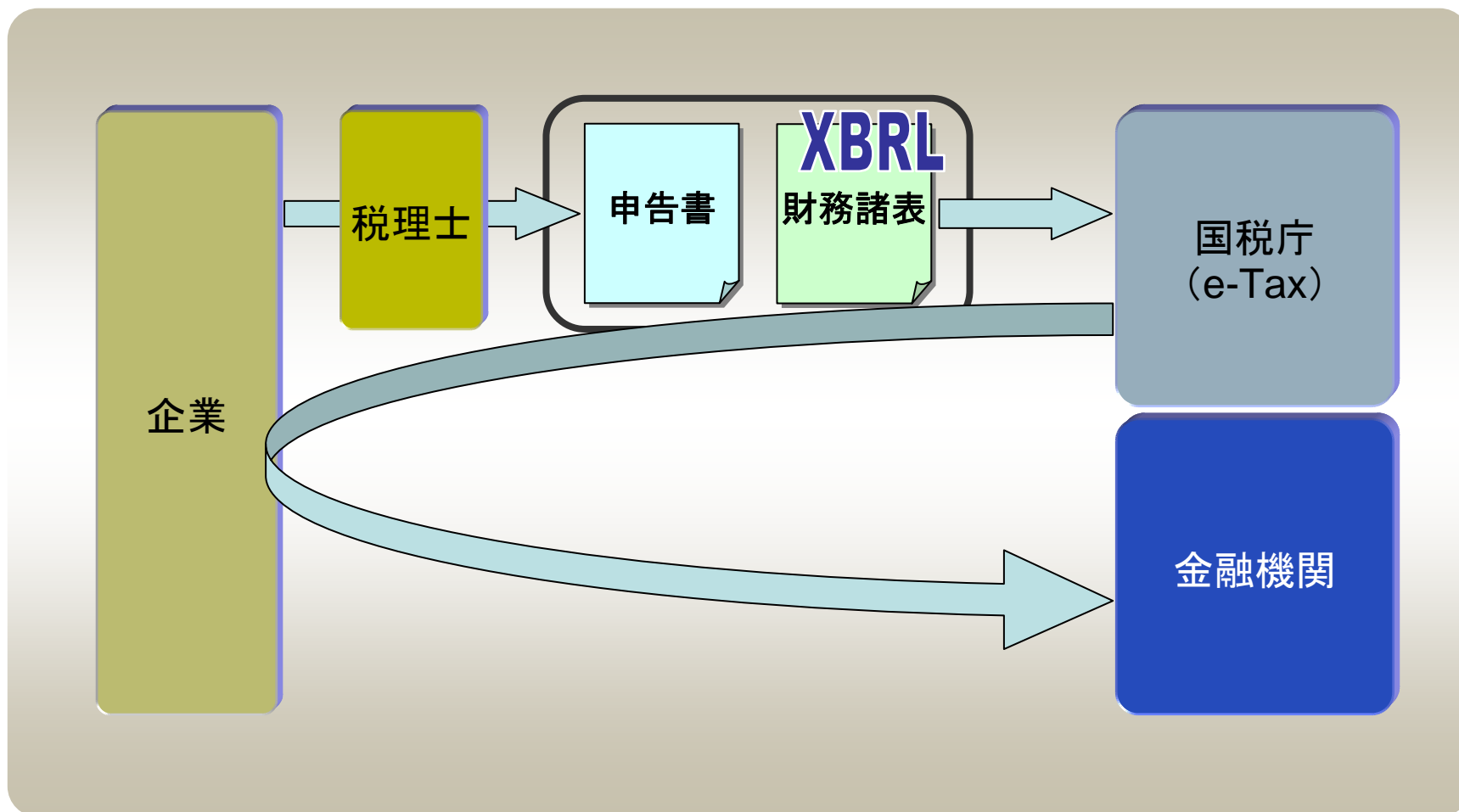
- 2004年、法人税の電子申告において、申告書に添付する財務諸表にXBRLを導入

◆日本銀行

- 2006年より金融機関からの月次財務報告にXBRLを導入

2-6. 金融機関における活用例

- 融資審査等への活用



2-7. 監督当局における活用例

- 日本銀行におけるXBRLプロジェクトの目的

1. 日本銀行にとって

⇒ 日本銀行内部におけるデータ処理負担の軽減、日本銀行内ユーザーに対するデータの早期利用開放の実現等によるデータの収集・処理効率の改善。

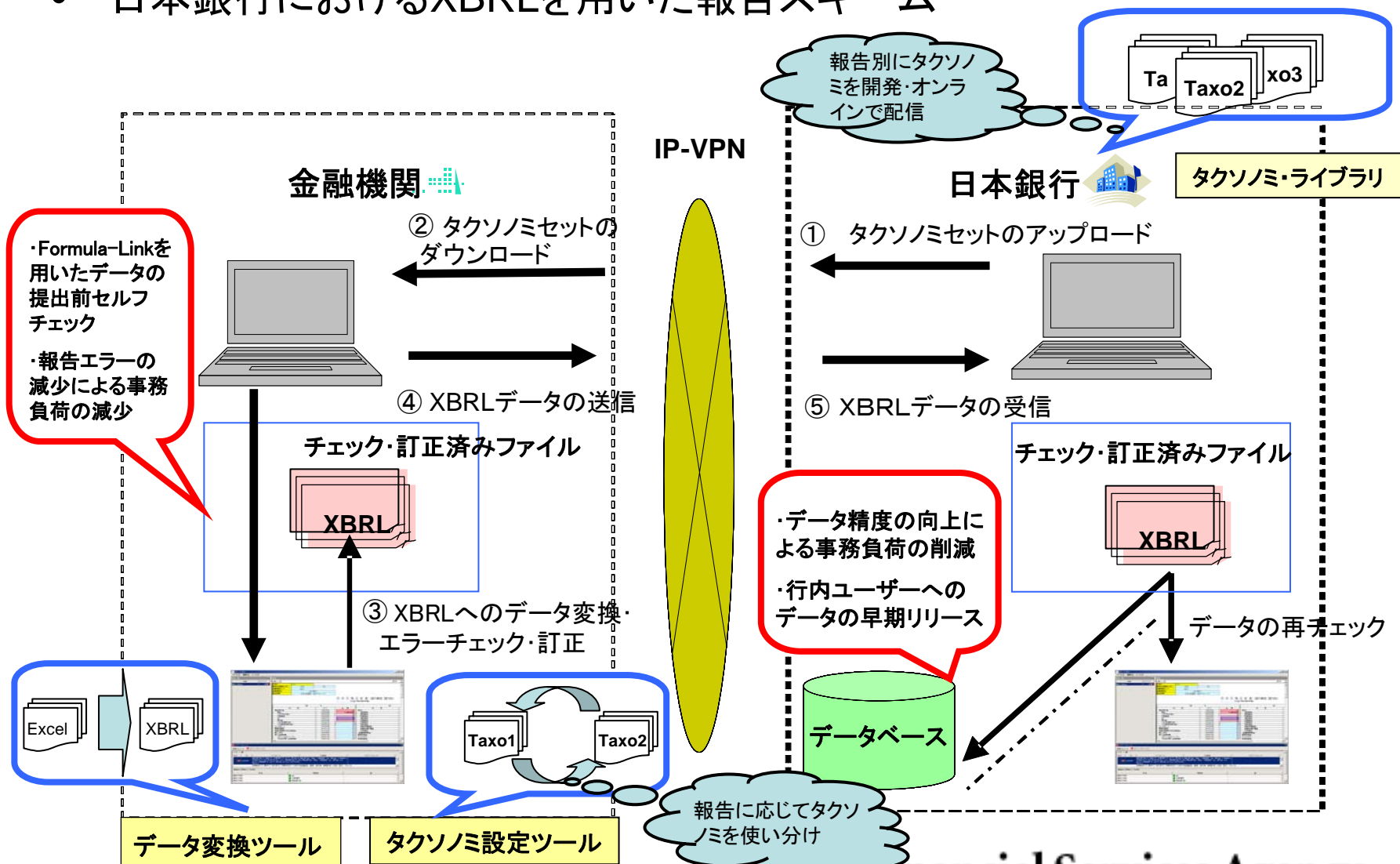
2. 社会にとって

⇒ 金融インフラ全体における情報交換効率改善への寄与と、金融システム高度化の実現。

⇒ 換言すれば、情報サプライチェーンの効率化の推進。

2-7. 監督当局における活用例

・ 日本銀行におけるXBRLを用いた報告スキーム



2-7. 監督当局における活用例

- XBRLによるエラーチェック機能のイメージ

フォーミュラチェック							
第1部【概説】							
1. 【主要な指標などの推移】							
(1) 指標							
年次	10	11	12	13	14	15	16
年月	1999-03	2000-03	2001-03	2002-03	2003-03	2004-03	2005-03
売上高	10,000,000	20,000,000	3,000,000	40,000,000	50,000	6,000,000	7,000,000
経常利益	555,555	111,111	222,222	33,333	444,444	666,666	777,777
当期純利益	555,555	△ 111,111	222,222	33,333	△ 44,444	△ 77,777	666,666
2. 【沿革】							
XXXXXXXX XXXXXX							
エラー一覧 (式)と(式の日本語表示<日本語メッセージ>)を一覧表示							
売上高－経常利益>0 売上高 ひく 経常利益 は 0より大きくなければいけません							
コメント一覧							
四捨五入処理を実施しています							

3. 諸外国における動向

3-1. 諸外国におけるXBRLの状況

欧州 IASCF
欧州銀行監督者委員会(CEBS)

英国 歳入関税庁(HMRC)
会社登記所

オランダ 財務省、法務省、商工会議所、
国税関税総局、オランダ中央統計局(CBS)

スペイン 証券取引委員会(CNMV)
中央銀行

米国 証券取引委員会(SEC)
連邦預金保険機構(FDIC)

カナダ 証券監督局(CSA)

金融庁
東京証券取引所
国税庁
日本銀行

中国 証券監督管理委員会(CSRC)
上海・深セン証券取引所

韓国 金融監督院(FSS)

インド 証券取引委員会(SEBI)
ボンベイ証券取引所

シンガポール 会計・企業規制局(ACRA)
内国歳入庁

イスラエル 証券取引委員会(ISA)

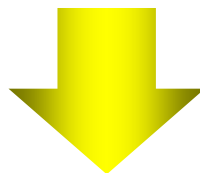
オーストラリア 財務省、金融監督局(APRA)、
統計局(ABS)、証券投資委員会(ASIC)、国税庁(ATO)

ニュージーランド 内国歳入庁、統計局(SNZ)、
財務省

3-2. XBRLのインパクト ②

- “Global Infrastructure”の提供

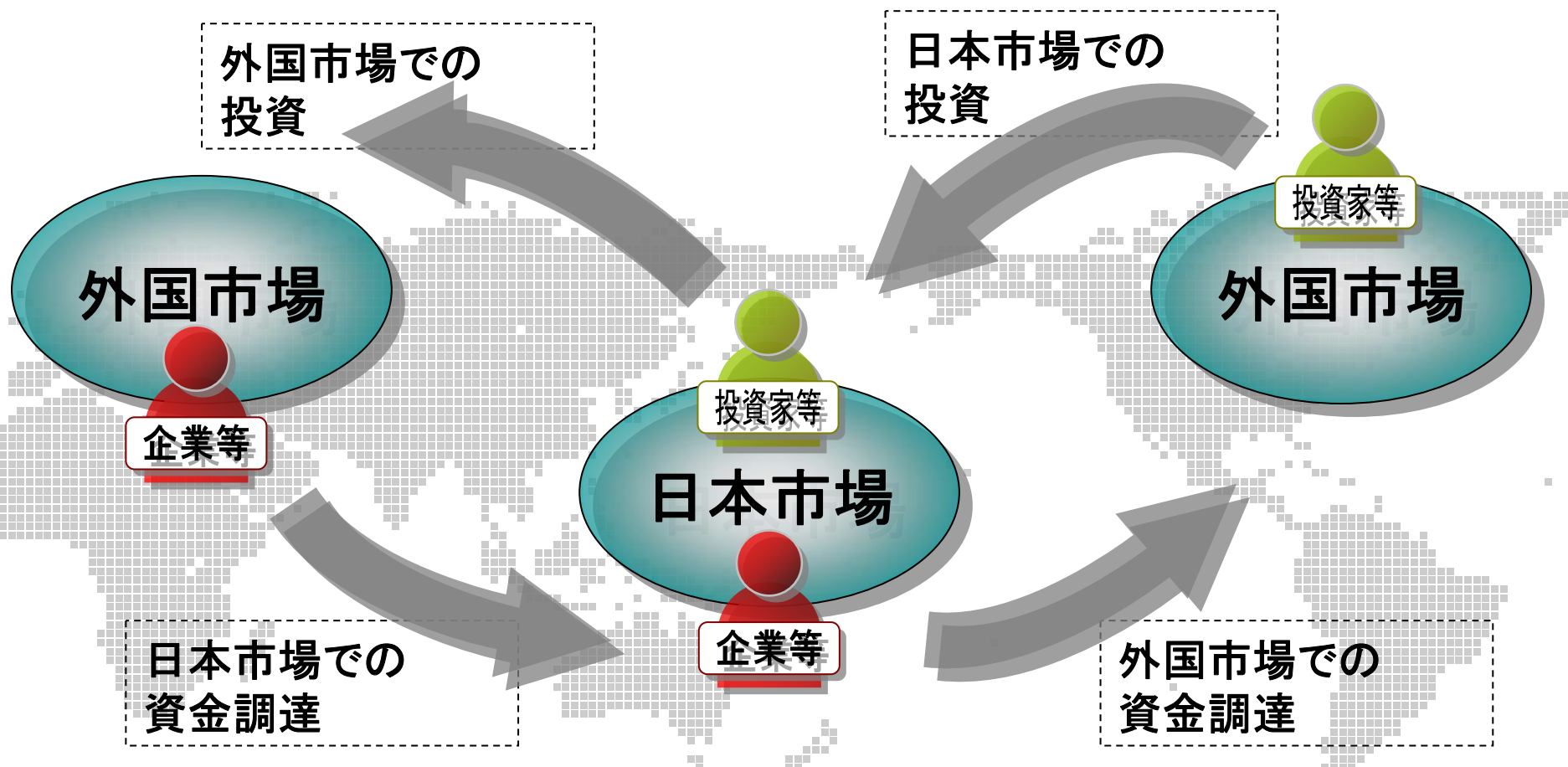
財務情報等の国際的な流通を円滑化し、企業や投資家のボーダレスな活動を促進する。



市場の国際化、活性化

3-2. XBRLのインパクト ②

- 株式・金融市場のグローバル化へ



3-3. 米国におけるXBRLの状況

◆米国SEC

- 2008年12月、米国SECが、上場会社・投資信託・格付機関等の情報開示へのXBRL導入を決定

<SEC導入スケジュール>

2009年6月～	時価総額50億ドル以上の大会社に適用(US GAAP企業のみ。500社程度)
2010年6月～	大規模早期提出会社に適用(US GAAP企業のみ)
2011年6月～	IFRS企業を含む全開示会社に適用

<SEC導入方式>

	SEC	(参考)金融庁
対象書類	•年次報告書 •四半期報告書 •有価証券届出書	•有価証券報告書 •四半期報告書 •半期報告書 •有価証券届出書
提出方法	•上記報告書の添付として提出	•報告書本体として提出
XBRLの対象情報	•財務諸表本体 •注記/附属明細表 (MD&A等は義務対象外)	•財務諸表本体のみ

IFRSのアドプションを睨んで、どのようにXBRLに対応するかが課題



U.S. Securities and Exchange Commission

SEC Announces Successor to EDGAR Database

"IDEA" Will Make Company and Fund Information Interactive

FOR IMMEDIATE RELEASE
2008-179



Washington, D.C., Aug. 19, 2008 — Securities and Exchange Commission Chairman Christopher Cox today unveiled the successor to the agency's 1980s-era EDGAR database, which will give investors far faster and easier access to key financial information about public companies and mutual funds.

The new system is called IDEA, short for Interactive Data Electronic Applications. Based on a completely new architecture being built from the ground up, it will at first supplement and then eventually replace the EDGAR system. The decision to replace EDGAR marks the SEC's transition from collecting forms and documents to making the information itself freely available to investors to give them better and more up-to-date financial disclosure in a form they can readily use.

"IDEA will ensure that the SEC continues to stay ahead of the needs of investors," said Chairman Cox. "This new SEC resource powered by interactive data will give investors far faster, more accurate, and more meaningful information about the companies and mutual funds they own. IDEA's launch represents a fundamental change in the way the SEC collects and publishes company and fund information – and in the way that investors will be able to use it."

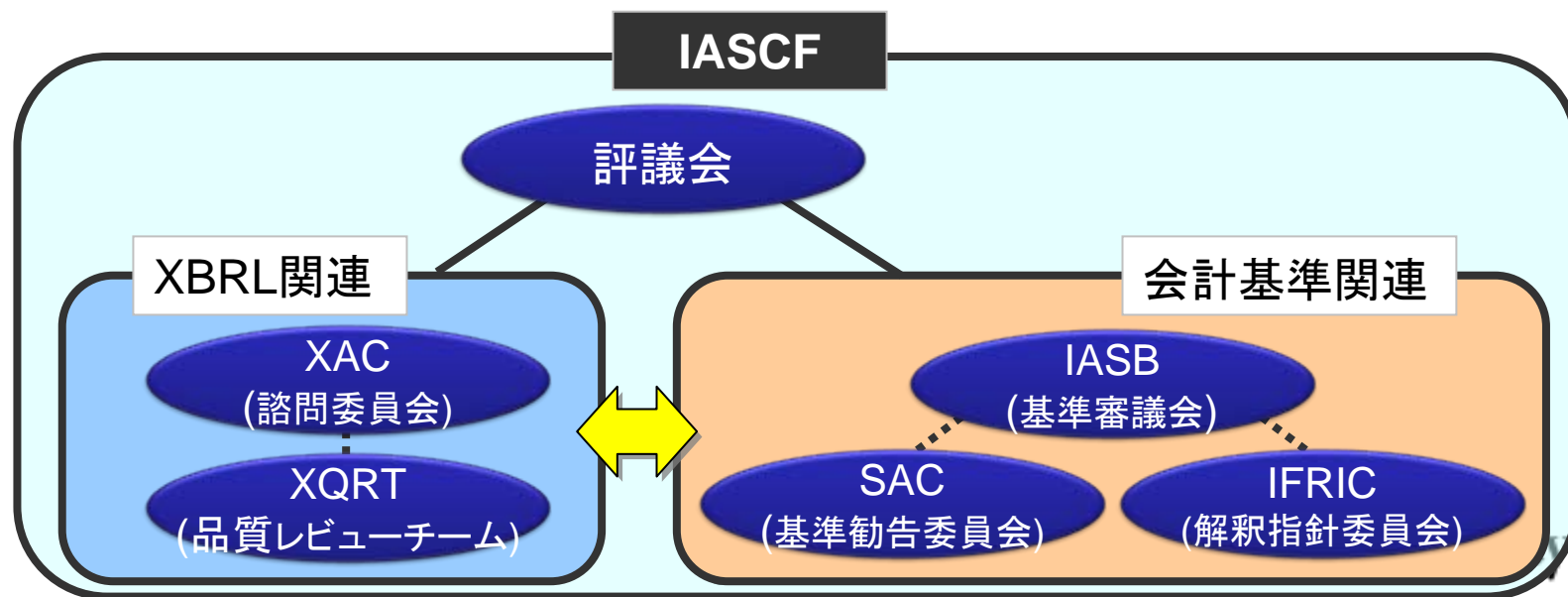
Interactive data relies on computer "tags," similar in function to bar codes, which identify individual items in a company's financial disclosures. With every number on an income statement or balance sheet individually labeled, information about thousands of companies contained on thousands of forms could be easily searched on the Internet, downloaded into spreadsheets, reorganized in databases, and put to any number of other comparative and analytical uses by investors, analysts, journalists, and financial intermediaries.

米国SEC
Webサイトより引用
<http://www.sec.gov/news/press/2008/2008-179.htm>

3-4. IFRSベースの財務報告に関するXBRLの動向

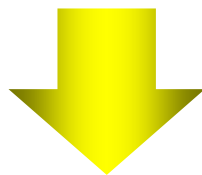
◆IASCF(国際会計基準委員会財団)

- 1999年より国際会計基準(IFRS)に基づくXBRL財務報告の研究を開始
- 2005年にIFRSに基づくタクソミを開発。その後、毎年のIFRSの改正に合わせてタクソミの更新を実施
- IFRS導入国におけるIFRSタクソミの利用を促進中
- 2007年に有識者による諮問委員会(XAC)及び品質レビューチーム(XQRT)を創設し、IASCFにおけるXBRL活動を強化



3－5. XBRLの国際的相互運用性の確保に向けて

- 各国が単にXBRLを導入するだけでは、データ形式としての互換性が十分に確保されず、情報の十分な国際的流通性を確保できなくなる恐れ。



”Global Infrastructure”としてのXBRLの利益を最大限享受するために、
XBRLの国際的相互運用性を確保することが重要。

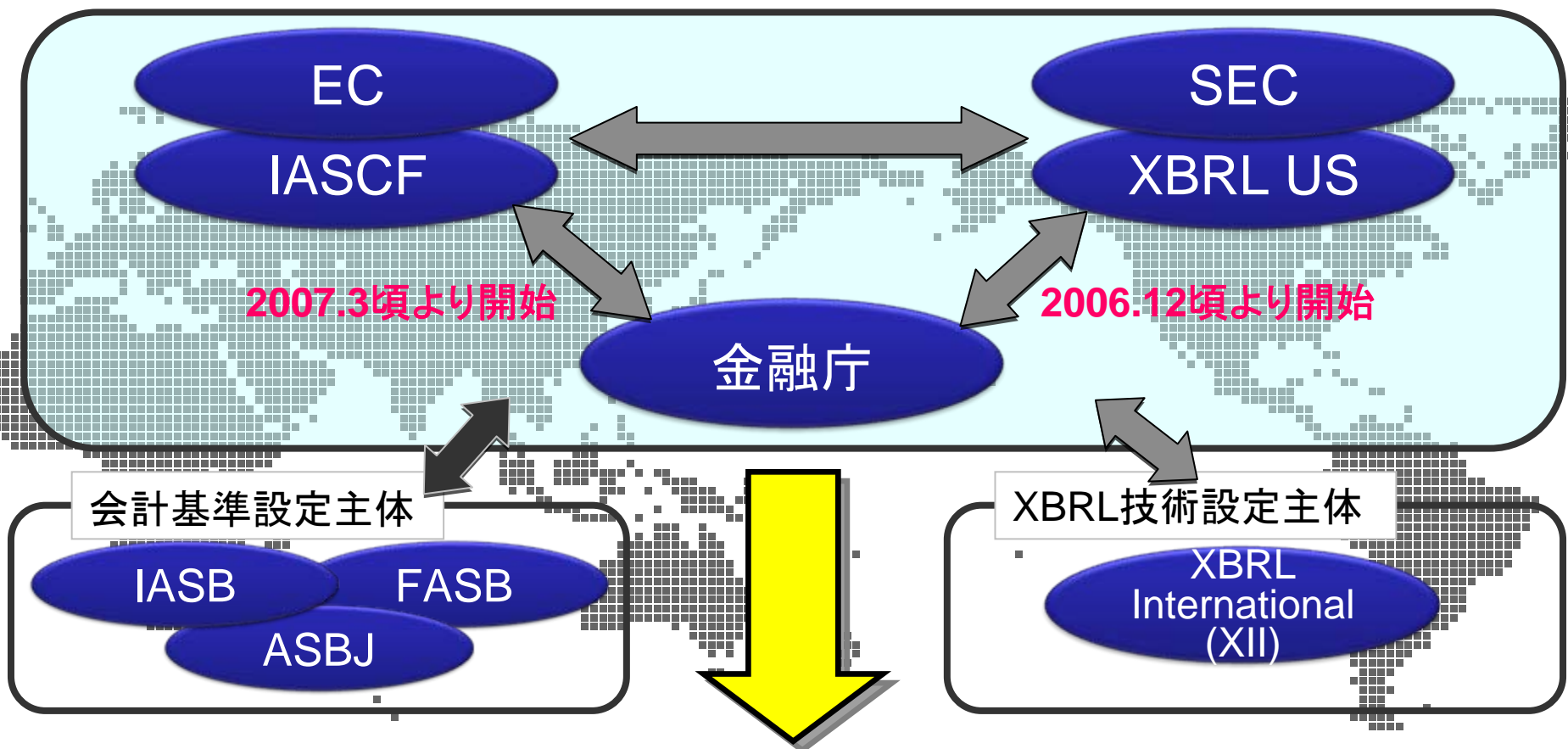
3-5. XBRLの国際的相互運用性の確保に向けて

<XBRLの国際的相互運用性に向けた体制>

2007.10開始

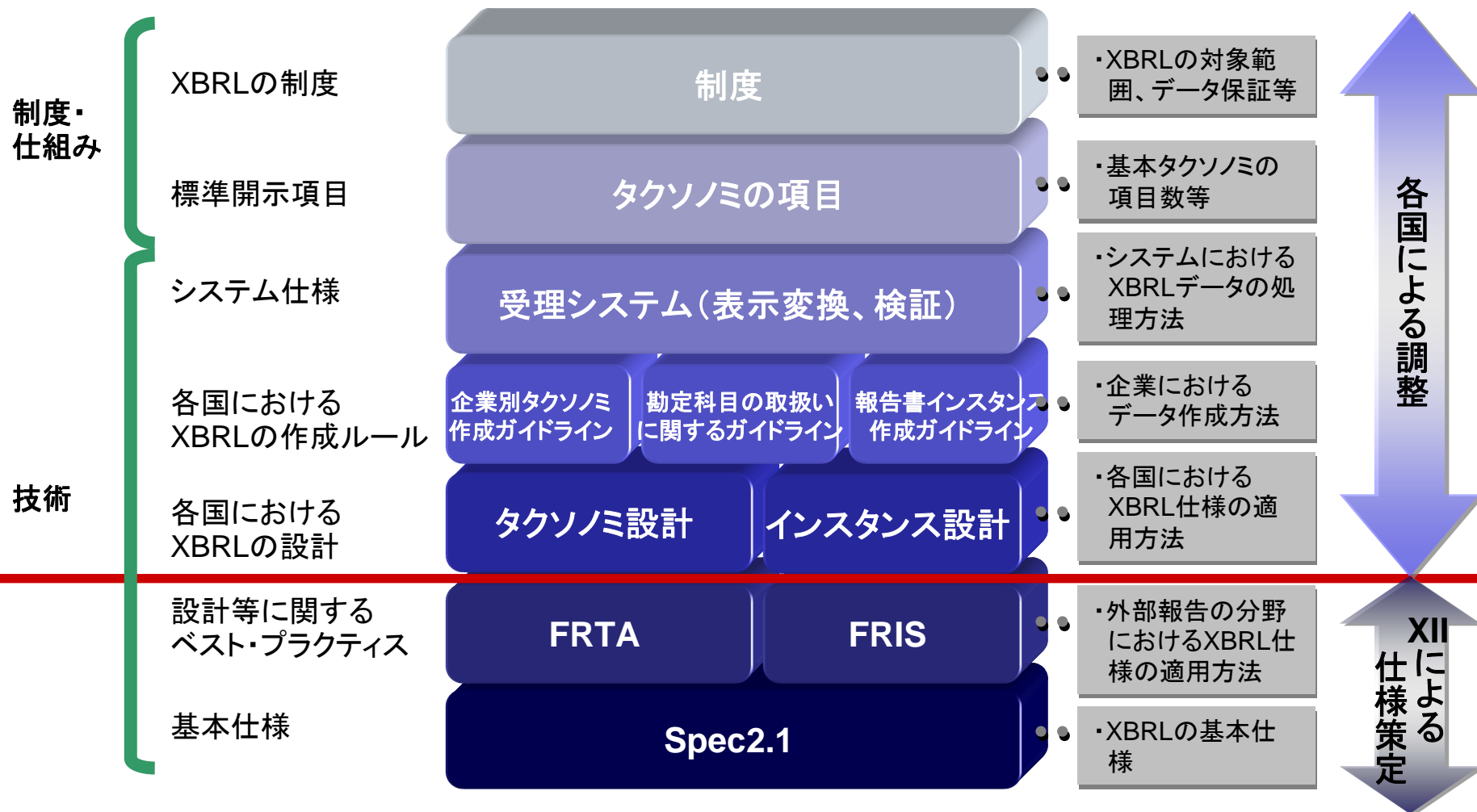
2007.3頃より開始

2006.12頃より開始



IFRSへの対応の拡がり

3-5. XBRLの国際的相互運用性の確保に向けて



2007年10月より、金融庁、IASCF、SEC、ECによる、XBRLの国際的相互運用可能な枠組みに向けた検討を開始。

3-6. 我が国におけるIFRSの取扱いについて

「我が国における国際会計基準の取扱いについて(中間報告)(案)」
平成21年2月4日 企業会計審議会・企画調整部会

基本的考え方

我が国の会計関係者が中長期的な展望を共有した上で、IFRSの取扱いを検討する必要。その際、IASCFのガバナンス改革の状況や米国をはじめとする国際的な諸情勢等の状況変化に応じ柔軟な対応が重要

IFRS適用に向けた課題

- ① IFRSの内容
- ② IFRSを適用する場合の言語
- ③ IFRSの設定におけるデュー・プロセスの確保
- ④ IFRSの設定やガバナンスへの我が国の関与の強化
- ⑤ IFRSに対する実務の対応、教育・訓練
- ⑥ XBRLのIFRSへの対応

3-6. 我が国におけるIFRSの取扱いについて

IFRSの具体的な適用方法

(1) 任意適用

例えば、2010年3月期の年度の財務諸表から、国際的に財務活動を行っている上場企業又は市場において十分周知されている一定規模以上の上場企業等の連結財務諸表に、任意で適用を認めることが考えられる。ただし、時期・適用対象企業とも、上記IASCFのガバナンス改革の状況や国際的な諸情勢等を見極めた上で判断する必要

(2) 将来的な強制適用の是非

強制適用の是非の決定は現時点では行わない。なお、一つの目途として2012年に判断することが考えられるが、上記の諸課題の達成状況やIFRSの適用状況等を確認する必要があることから、判断時期は、前後し得る(判断時期は、将来決定)

仮に強制適用する場合の開始時期は、判断時期から十分な準備期間(少なくとも3年間)を確保することが考えられる。

4. 今後の課題

4-1. 今後の課題

- XBRLの企業・投資家における活用促進
- XBRLの監督当局等での活用
- XBRL開示のIFRSへの対応
- XBRL対象範囲の拡大